目次

はじめに

このたびは、弊社の FMV-LIFEBOOK（以降、パソコン本体）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、CD-R/RW ドライブ、DVD-ROM&CD-R/RW ドライブ、DVD マルチドライブ（以降、本製品）の使い方と、CD-R/RW または DVD-R/RW 用アプリケーション「Sonic RecordNow DX」、DVD-RAM ディスクへの書き込みを可能にする「DVD-RAM ドライバーソフト」および DVD ディスクの再生を行うアプリケーション「WinDVD」について説明しています。
ディスクの注意事項、CD や DVD のセットまたは取り出す方法などについては、『FMV マニュアル』の「ハードウェア」－「CD ／ DVD について」をご覧ください。
ご使用になる前に本書およびパソコン本体のマニュアル、特に「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

2004 年 6 月

本書の表記

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■コマンド入力（キー入力）

CD-ROM ドライブのドライブ名を［CD-ROM ドライブ］で表記しています。入力の際はお使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

例：[CD-ROM ドライブ]:¥setup.exe

・上記のようなコマンド入力を英小文字で表記していますが、英大文字で入力してもかまいません。

■画面例について

表記されている画面は一例です。お使いのディスクやデータの種類によって、画面の一部やファイル名などが若干異なる場合があります。

■操作方法の記載

お使いの機種により、マウスで操作するもの、またはタッチパネルで操作するものがあります。
本文中では、操作方法を「クリック」と表記しています。
ペンをお使いになる場合は、「クリック」を「タップ」と読み替えてください。

■連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：　「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

また、本文中の操作手順において、操作手順の類似しているものは、あわせて記述しています。

例：　「スタート」ボタン→「(すべての) プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

■製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。
なお、本書ではお使いの機種、または OS 以外の情報もありますが、ご了承ください。

<table>
<tr><th>製品名称</th><th colspan="3">本文中の表記</th></tr>
<tr><td>FMV-820NAH</td><td>NAH</td><td colspan="2" rowspan="9">本パソコン
パソコン本体</td></tr>
<tr><td>FMV-820NAL</td><td>NAL</td></tr>
<tr><td>FMV-820NA</td><td>NA</td></tr>
<tr><td>FMV-820NUL</td><td>NUL</td></tr>
<tr><td>FMV-820NULX</td><td>NULX
バリューライン</td></tr>
<tr><td>FMV-820NUB</td><td>NUB</td></tr>
<tr><td>FMV-820NUBX</td><td>NUBX
バリューライン</td></tr>
<tr><td>FMV-820MGH</td><td>MGH</td></tr>
<tr><td>FMV-820MG</td><td>MG</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® XP Professional</td><td>Windows XP Professional</td><td rowspan="2">Windows XP</td><td rowspan="3">Windows 注</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® XP Home Edition</td><td>Windows XP Home Edition</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® 2000 Professional</td><td colspan="2">Windows 2000</td></tr>
<tr><td>Sonic RecordNow DX</td><td colspan="3">RecordNow</td></tr>
<tr><td>WinDVD™ 5</td><td colspan="3">WinDVD</td></tr>
</table>

注：Windows XP/2000 のように併記する場合があります。

■安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。
本書では、いろいろな絵表示をしています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、お読みください。

表示	意味
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

⚠警告

分解

・絶対に分解したり修理・改造したりしないでください。
レーザー光線による視力障害や感電の原因となります。
内部の点検や修理などは「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

⚠注意

禁止

・不安定なところに置かないでください（AC アダプタ、パソコン本体、本製品）。
機器が落ちたりして、けがや故障の原因になることがあります。

禁止

・ヘッドホンやイヤホン使用時は、音量を上げすぎないでください。
耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

・ひび割れ、変形したディスクは使わないでください。
高速回転しますので、ディスクが飛び散って故障やけがの原因になることがあります。
接着剤などで補修したディスクも同様に使用しないでください。

禁止

・コネクタ端子に触れないでください。
本製品やパソコン本体の故障の原因になることがあります。

禁止

・水、湿気、湯気、ほこり、油煙等の多い場所（調理台や加湿器のそばなど）に設置しないでください。
故障、感電などの原因になることがあります。

・操作の前に、音量を調節してください。
突然大きな音が出て、聴力に悪い影響を与えることがあります。

・レーザー光線をのぞきこまないでください。
本製品は、レーザー光線を遮断する構造になっていますが、万一故障でレーザー光線が出ていると、視力障害の原因になることがあります。

・衝撃や振動を与えないでください。
故障の原因になることがあります。

■レーザーの安全性について

本製品に搭載されている CD/DVD ドライブは、レーザーを使用しています。

クラス 1 レーザー製品

CD/DVD ドライブは、クラス 1 レーザー製品について規定している米国の保健福祉省連邦規則（DHHS 21 CFR ）Subchapter J に準拠しています。また、クラス 1 レーザー製品の国際規格である（IEC 60825-1）、CENELEC 規格（EN 60825-1）および、JIS 規格（JISC6802）に準拠しています。

⚠注意

・CD/DVD ドライブをマニュアルに記載された説明や手順以外の方法で使用すると、レーザー放射の危険があります。また、CD/DVD ドライブを開くと、危険なレーザーを浴びる可能性があります。ドライブを絶対に分解しないでください。

一部の CD/DVD ドライブには、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードを使用しています。

⚠注意

・CD/DVD ドライブのカバーを開くとクラス 3A またはクラス 3B のレーザーが放射されます。レーザー光線を見つめたり、光学機器を使って直接見たりしないでください。またレーザー放射を直接浴びないようにしてください。

1 概　要

■ 特　長

● CD-R/RW 機能

・既存の CD-ROM 媒体からの読み出しに加えて、CD-R/RW ディスクにデータを書き込むことができます。

● DVD-ROM 機能（DVD マルチドライブ、または DVD-ROM&CD-R/RW ドライブをお使いの場合のみ）

・既存の CD-ROM 媒体からの読み出しに加えて、より大容量のデータを記録した DVD-ROM からの読み出しができます。

● DVD-R/RW 機能および DVD-RAM 機能（DVD マルチドライブをお使いの場合のみ）

・既存の CD-ROM 媒体、または DVD-ROM 媒体からの読み出しに加えて、DVD-RAM/R/RW ディスクにデータを書き込むことができます。

重 要

- ビデオ CD の一部について、弊社では WinDVD での動作を保証していません。この場合は、Media Player などで再生してください。
- WinDVD は、DVD コンテンツを CD-R/RW に書き込んだ媒体の動作を保証していません。

2 取り扱い上の注意

ディスクご使用時の注意事項

- ディスクは両面ともラベルを貼ったり、ボールペンや鉛筆などで字を書いたりしないでください。
- データ面をさわったり、傷をつけたりしないでください。
- 曲げたり、重いものを載せたりしないでください。
- 汚れたり水滴がついたりしたときは、少し湿らせた布で中央から外側へ向かって拭いた後、乾いた布で拭き取ってください。
- コーヒーなどの液体がかからないようにしてください。
- 高温や低温の場所に保管しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
- パソコン本体の CD アクセス表示が点灯中は、振動や衝撃を与えないでください。
- CD 自動挿入機能（オートラン）が有効に設定されていると、正しく書き込みができないライタアプリケーションがあります。アプリケーションの指示に従って CD 自動挿入機能を設定してください。
- ディスクに書き込み中は、パソコン本体の電源を切ったり、再起動したり、本製品の CD 取り出しボタンを押したりしないでください。また、【Ctrl】＋【Alt】＋【Delete】キーを押す操作もしないでください。
- 書き込み中にディスクのディスク面に傷を検出した場合、書き込みを中断することがあります。
- ディスクへの書き込みを行うときは、自動的にスタンバイまたは休止状態にならないように、省電力の設定を変更してください。
- ディスクへの書き込みには、多くの電力を使用します。パソコン本体に AC アダプタを取り付けてお使いください。
- ディスクへの書き込み中は、他のアプリケーションを起動しないでください。他のアプリケーションを起動している場合は、そのアプリケーションを終了させてください。

DVD ディスクご使用時の注意事項

- 次の DVD-Video ディスクがお使いになれます。
  - DVD ディスクに記録されているリージョンコードに「2」が含まれているか、「ALL」と書かれているディスク
- ディスクの種類によっては、専用の再生ソフトが添付されている場合があります。ディスクに添付の再生ソフトをインストールした場合、WinDVD での再生は保証いたしません。また、ディスクに添付されている再生ソフトについても、弊社では保証いたしません。
- リージョンコードの変更は 4 回までです。
  リージョンコードを 4 回変更すると、最後に設定したリージョンコードに固定され、その他のリージョンコードの DVD-VIDEO は再生できなくなります。固定されたリージョンコードを変更する方法はありませんのでご注意ください。
- 前回再生した DVD-VIDEO と、リージョンコードが異なる DVD-VIDEO を再生しようとすると、リージョンコード変更を確認するメッセージ画面が表示されます。このメッセージ画面で「OK」をクリックすると、リージョンコードの設定が変更されます。
- ご購入時のリージョンコードは「2. 西ヨーロッパ、日本、南アフリカ」です。
- DVD のディスクの種類によっては、著作権保護のため、コピープロテクトがかかっている場合があります。WinDVD では、著作権保護として、デスクランブル機能および相互認証（Authentication）機能が用意されています。著作権保護のされたデータなどをコピーし、再生しても、相互認証エラー（Authentication Error）となり、再生できません（This DVD can't be played in this Region. と表示されます）。

■ DVD ディスク再生時の注意事項

- 再生する DVD-Video によっては、コマ落ちをする場合があります。
- WinDVD を起動中は電源ボタンを押さないでください。
- WinDVD の設定を変更した直後は、DVD-Video の再生が不安定になる場合があります。
- キャプション表示とサブタイトル表示を、同時に表示することはできません。
- MPEG1 のデータによっては再生できないものがあります。
- 本製品を使用する場合は、ACアダプタを使用してください。バッテリで運用すると、バッテリの寿命が短くなる場合があります。
- 市販されているアンチウィルスソフトとWinDVDを同時に起動することはできません。
  自動検索の機能を持つアンチウィルスソフトに関しては、WinDVD を起動する場合は、一時的にアンインストールしてください。なお、本パソコンに添付のアンチウィルスソフトは問題ありません。
- DVD-Video の再生中に他のアプリケーションを起動すると、コマ落ち／音飛びする場合があります。コマ落ち／音飛びを防ぐために、起動しているアプリケーションはすべて終了してください。
  なお、定期的に自動起動して、ウィルスチェック、ディスクメンテナンス、データベース更新およびデータ送受信処理などを行うソフトウェアについても、その頻度により音や映像の再生に影響が出ますので、必要に応じて終了してください。
- DVD ディスクおよびビデオ CD によっては、再生される映像データが表示エリア全体に表示されないものがあります。この場合は、表示の一部が黒くなります。
- マウスカーソルのデザインによっては、DVD 再生画面の上に移動したときにマウスカーソルが点滅することがあります。このような時は、「マウスのプロパティ」の「ポインタ」タブで、「デザイン」の設定を「なし」に変更してください。

・縦横比が 16:9 で録画されている DVD-Video をフルスクリーン表示をさせた場合、ズーム機能が使用できないことがあります。
・マルチモニタを設定している場合、DVD-Video の再生画面をプライマリ側からセカンダリ側に移動しないでください。誤動作の原因となります。
・MGH、MG シリーズでは、同時表示時に DVD-Video を再生すると、コマ落ちが発生することがあります。

ドライブの注意事項

・本パソコンは、円形のディスクのみお使いになれます。円形以外の異形ディスクは、お使いにならないでください。故障の原因となることがあります。異形ディスクをお使いになり故障した場合は、保証の対象外となります。
・「ディスク使用時の注意事項」が守られていないディスク、ゆがんだディスク、割れたディスク、ヒビの入ったディスクはお使いにならないでください。故障の原因となることがあります。これらのディスクをお使いになり故障した場合は、保証の対象外となります。
・DVD 規格では媒体の厚さを 1.14mm ～ 1.5mm と規定しています。
記録面が薄い媒体など、一部でもこの範囲外の厚さになっている媒体をお使いになると故障する場合があります。
規格外の DVD 媒体をお使いになり故障した場合は保証の対象外となります。
・コピーコントロール CD は、現状の音楽 CD の規格に準拠していない特殊なディスクのため、本パソコンでの再生および動作保証はできません。コピーコントロール CD のご使用中に不具合が生じた場合は、各コピーコントロール CD の発売元にお問い合わせください。
なお、正式な音楽 CD 規格に準拠した CD には、次のようなロゴが表示されています。

POINT

▶ DVDマルチドライブ、DVD-ROM&CD-R/RWドライブまたはCD-R/RWドライブをお使いになる場合は、次の点にご注意ください。
・DVD マルチドライブでは、DVD-Audio、DVD+R、DVD+RW はお使いになれません。DVD マルチドライブで使用できるディスクについては、「使用できるディスク」（→ P.12）をご覧ください。
・DVD-ROM&CD-R/RW ドライブでは、DVD-RAM、DVD-RW、DVD-Audio、DVD+R、DVD+RW はお使いになれません。また、DVD-R は読み出しのみで、書き込みはできません。DVD-ROM&CD-R/RW ドライブで使用できるディスクについては、「使用できるディスク」（→ P.12）をご覧ください。
・DVD マルチドライブや DVD-ROM & CD-R/RW ドライブでは、不正コピー防止の仕様に準拠していない DVD ディスクやビデオ CD は、正常に再生できない場合があります。
・CD-R/RW ドライブでは、不正コピー防止の仕様に準拠していないビデオ CD は、正常に再生できない場合があります。
・DVD マルチドライブ、DVD-ROM & CD-R/RW ドライブでは、DVD-RAM、DVD-RW、DVD+RW、DVD+R に記録された映像や音声の再生と動作の保証はできません。

・WinDVD では、DVD-ROM、DVD-R、DVD-RW、DVD-RAM、CD-R、CD-RW に記録された映像や音声の再生と動作の保証はできません。

3 使用できるディスク

□ CD-R/RW ドライブの場合

		読み込み	書き込み	書き換え
CD-ROM	COMPACT disc	○	×	×
音楽 CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO / COMPACT disc+ DIGITAL AUDIO	○	×	×
ビデオ CD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	○	×	×
CD-R	COMPACT disc Recordable	○	○	×
CD-RW	COMPACT disc ReWritable / COMPACT disc ReWritable High Speed	○	○	○

□ DVD-ROM&CD-R/RW ドライブの場合

		読み込み	書き込み	書き換え
CD-ROM	COMPACT disc	○	×	×
音楽 CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO / COMPACT disc+ DIGITAL AUDIO	○	×	×
ビデオ CD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	○	×	×
CD-R	COMPACT disc Recordable	○	○	×
CD-RW	COMPACT disc ReWritable / COMPACT disc ReWritable High Speed	○	○	○注 1
DVD-ROM	DVD ROM	○	×	×
DVD-Video		○	×	×
DVD-R（3.95GB/4.7GB）	DVD R	○	×	×
DVD-RW	DVD RW	×	×	×
DVD-RAM 注 2	DVD RAM	×	×	×

注 1 :CD-RW に書き込んだデータを削除するには、ディスクに書き込まれているデータをすべて消去する必要があります。

注 2 :DVD-RAM は、カートリッジなしタイプまたはカートリッジからディスクが取り出せるタイプをご購入ください。カートリッジに入れた状態で使用するタイプ（Type1）は使用できません。また、無理に取り出して使わないでください。

□ DVD マルチドライブの場合

		読み込み	書き込み	書き換え
CD-ROM		○	×	×
音楽 CD		○	×	×
ビデオ CD		○	×	×
CD-R		○	○	×
CD-RW		○	○	○注 1
DVD-ROM		○	×	×
DVD-Video		○	×	×
DVD-R（3.95GB/4.7GB）		○	○	×
DVD-RW		○	○	○注 1
DVD-RAM 注 2		○	○	○

注 1 :CD-RW、DVD-RW に書き込んだデータを削除するには、ディスクに書き込まれているデータをすべて消去する必要があります。

注 2 :DVD-RAM は、カートリッジなしタイプまたはカートリッジからディスクが取り出せるタイプをご購入ください。カートリッジに入れた状態で使用するタイプ（Type1）は使用できません。また、無理に取り出して使わないでください。

推奨ディスク

本パソコン内蔵のユニットで書き込み・書き換えを行う場合は、次のディスクの使用を推奨します。なお、使用できるディスクは、カスタムメイドやバリューラインの選択によって異なります。

CD-R

太陽誘電	: CD-R74TY、CD-R80TY

CD-RW

富士通サプライ品	: CD-RW74/0241410
三菱化学メディア	: SW74QU1、SW74EU1、SW80QU1、SW80EU1

DVD-RAM

松下電器	: LM-HC47、LM-HC47L（4.7GB、カートリッジ無） LM-HB47、LM-HB47L（4.7GB、カートリッジ有、取り出し可） LM-HB94、LM-HB94L（9.4GB、カートリッジ有、取り出し可）

DVD-R

太陽誘電	: DR47D-TP、DVDR-D47TY

DVD-RW

日本ビクター	: VD-RW47A、VD-RW47B

富士通サプライ品は、富士通コワーコ株式会社の取り扱い品です。
お問い合わせ：03-3342-5375

上記以外の CD-R/RW ディスクや DVD-RAM/R/RW ディスクをお使いの場合は、書き込み・書き換え速度の低下や正常に書き込み・書き換えができない場合があります。

POINT

- カスタムメイドで CD-ROM ドライブ以外を選択した場合は、次のことに気をつけてください。
  - ・本パソコンで作成した CD-R/CD-RW は、お使いになる CD プレーヤーによっては再生できない場合があります。
  - ・本パソコンで作成した DVD-RAM/R/RW は、お使いになる DVD プレーヤーによっては、再生できない場合があります。
    また、再生に対応した DVD プレーヤーをお使いの場合でも、ディスクの記録状態によっては再生できない場合があります。

4 DVD-RAM への書き込み・書き換えについて（DVD マルチドライブをお使いの場合のみ）

DVD-RAM を作成する場合には、あらかじめ DVD-RAM ディスクをフォーマット（初期化）する必要があります。
9.4GB の両面タイプの DVD-RAM ディスクについては、片面ごとにフォーマットしてください。
2.6/5.2GB の DVD-RAM ディスクについてはフォーマットすることはできません。

DVD-RAM のフォーマット形式

DVD-RAM ディスクのフォーマットには、次のものがあります。

■ FAT 形式

Windows の標準フォーマットで、ハードディスクなどでも使用されています。

・FAT32
　Windows の標準フォーマットです。

■ UDF（Universal Disk Format）形式

DVD の統一標準フォーマットです。UDF 形式でフォーマットした DVD-RAM メディアでは、エラーチェックツールや最適化（デフラグ）ツールは実行できません。

・UDF1.5
　DVD-RAM ディスクの標準フォーマットです。
・UDF2.0（DVD-RAM ドライバーソフトのみ選択可能）
　DVD フォーラム策定の「ビデオレコーディングフォーマット規格」準拠のフォーマットです。

ソフトウェアについて

本パソコンの DVD マルチドライブで DVD-RAM に書き込み・書き換えする場合は、次のソフトウェアがお使いになれます。
お使いの目的にあわせて、ソフトウェアを選んでください。

重 要

▶DLA と DVD-RAM ドライバーソフトを同時にインストールしておくことはできません。

■ OS 標準のドライバ（Windows XP のみ）

Windows XP をお使いの場合は、OS が標準でサポートしているドライバで DVD-RAM の書き込み・書き換えを行うことができます。
DVD-RAM のフォーマット形式は、FAT32 に対応しています。
DLA または DVD-RAM ドライバーソフトをインストールすると、機能が強化されます。

■ DLA

パケットライト機能をお使いになる場合は、DLA をインストールしてください。インストールする場合は、本パソコンをインターネットに接続する必要があります。
インストール方法は、「RecordNow DX について」（→ P.18）をご覧ください。
DVD-RAM のフォーマット形式は、UDF2.0 に対応しています。

■ DVD-RAM ドライバーソフト

ハードディスクと同様の操作で DVD-RAM に書き込み・書き換えを行う場合は、松下製 DVD-RAM ドライバをインストールしてください。インストールする場合は、「WinDVD、Sonic RecordNow DX、DVD-RAM ドライバーソフト」CD を用意してください。
インストール方法は、「DVD-RAM ドライバーソフトについて」（→ P.20）をご覧ください。
DVD-RAM のフォーマット形式は、FAT32、UDF1.5 および UDF2.0 に対応しています。
なお、Windows 2000 をお使いの場合は、DVD-RAM ドライバーソフトをインストールすると、マイコンピュータに「リムーバブルディスク」アイコンができます。DVD-RAM を使用するときは、「リムーバブルディスク」アイコンを選んでください。

DVD-RAM ディスクに書き込むときの準備

DVD-RAM ディスクに書き込む前に、ドライブの設定を変更し、DVD-RAM ディスクをフォーマットしてください。

・Windows XP の場合、初めて DVD-RAM ディスクに書き込む場合は、次の手順でドライブの設定を変更してください。
  1. 「スタート」ボタン→「マイコンピュータ」の順にクリックします。
  2. DVD-RAM を割り当てているドライブを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
  3. 「書き込み」タブで「このドライブで CD 書き込みを有効にする」のチェックを外します。
  4. 「OK」をクリックします。
・DVD-RAM ディスクをフォーマットする場合は、お使いになる目的にあわせて、フォーマット形式を選んでください。

5 RecordNow DX について

本パソコンは、CD-R/RW または DVD-R/RW 用アプリケーションとして「RecordNow DX」を標準インストールしています。

● RecordNow DX

「RecordNow DX」は、さまざまなデータ／オーディオディスクの作成を簡単に実行できる、理想的なディスクマスタリングアプリケーションです。
RecordNow Wizard を使用すると、いくつかの手順に従うだけで、基本的なディスクの作成を簡単に実行できます。

POINT

- 「RecordNow DX」は、著作権を持っているか、または著作権者からコピーの許可を得ている材料の再作成を手助けするように設計されています。著作権を所有していないか、または著作権者からコピーの許可を得ていない場合は、著作権法に違反し、損害賠償やその他の刑罰を課せられることがあります。自分の権利について不明な場合は、法律家にご相談ください。
- RecordNow DX では、パケットライト機能はご使用になれません。パケットライト機能をご使用になる場合は、パケットライト用アプリケーション「DLA」が必要です。
  また、DVD-RAM 作成の場合には、UDF 形式（UDF2.0 のみ）で保存することができます。
  「DLA」は次の方法でインストールしてください。
  1. パソコン本体に RecordNow DX がインストールされていることを確認します。
     インストールされていない場合には、DLA のインストールの前に RecordNow DX をインストールしてください。
  2. パソコン本体をインターネットに接続します。
  3. RecordNow DX を起動します。
  4. 「ヘルプ」メニュー→「Web のテクニカルサポート」の順にクリックします。
     サポートの Web ページが表示されます。
  5. Web ページ内の「ダウンロード」をクリックします。
     この後は、メッセージに従って操作してください。
- DVD マルチドライブをお使いの場合､DVD-RAM ドライバーソフトと DLA を同時にインストールすることはできません。
  お使いの環境に合わせたソフトウェアをインストールしてください。

RecordNow DX の使い方

RecordNow DX の使い方については､「スタート」ボタン→「（すべての）プログラム」→「Sonic Software」→「RecordNow DX」にある「RecordNow ヘルプ」をクリックしてご覧ください。

RecordNow DX の再インストール

本パソコンをご購入時の状態に戻した場合、「RecordNow DX」の内容は削除されます。
「RecordNow DX」をお使いの際は添付の「RecordNow DX」CD-ROM から再インストールする必要があります。

1 添付の「RecordNow DX」CD-ROM を本製品にセットします。

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROMドライブ]：¥recnow¥setup.exe

「Sonic RecordNow DX セットアップ」ウィンドウが表示されます。

4 「次へ」をクリックします。

「ユーザー使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。

5 「この使用許諾契約の条件に同意します」を有効（◉）にして「次へ」をクリックします。

「インストール先」ウィンドウが表示されます。

6 「次へ」をクリックします。

「インストールの準備完了」ウィンドウが表示されます。

7 「インストール」をクリックします。

インストールが開始されます。

8 インストールが終了したら「終了」をクリックします。

「readme」が表示されます。

9 ウィンドウの右上にある「閉じる」ボタンをクリックして「readme」を閉じます。

「インストーラ情報」ウィンドウが表示されます。

10 「はい」をクリックします。

パソコン本体が再起動します。

6 DVD-RAM ドライバーソフトについて

DVD-RAM ドライバーソフトをインストールする（DVD マルチドライブをお使いの場合）

ここでは DVD-RAM ディスクへの書き込みを可能にする DVD-RAM ドライバーソフトのインストール方法を説明します。

DVD-RAM ドライバーソフト

ハードディスクとほぼ同様の操作で、DVD-RAM ディスクへのデータ書き込みを可能にするソフトウェアです。
DVD-RAM 作成の場合には、FAT 形式（FAT32）と UDF 形式（UDF1.5 および 2.0）で保存することができます。
ただし、パケットライト機能を使用することはできません。

■ Windows XP の場合

1 添付の「WinDVD、Sonic RecordNow DX、DVD-RAM ドライバーソフト」CD-ROM を本製品にセットします。

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROMドライブ]：¥dvdram¥xp¥setup.exe

「DVD-RAM ドライバー用の InstallShield ウィザードへようこそ」ウィンドウが表示されます。

4 「次へ」をクリックします。

「使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。

5 「はい」をクリックします。

「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

POINT

- 標準では、「C:¥Program Files¥DVD-RAM¥WinXP¥DVD-RAM ドライバー」にインストールされます。インストール先は変更できますが、思わぬトラブルを招く場合があります。インストール先の変更は、パソコンについて充分な知識のある方のみ行ってください。

6 「次へ」をクリックします。

「プログラムフォルダの選択」ウィンドウが表示されます。

7 「次へ」をクリックします。

「ファイルコピーの開始」ウィンドウが表示されます。

8 「次へ」をクリックします。

インストールが開始されます。

「InstallShield ウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。

POINT

- 「Windows XP 用ドライバーソフト 制限事項」が表示された場合は、内容を確認してウィンドウを閉じます。

9 「はい、今すぐコンピュータを再起動します」を有効にして、「完了」をクリックします。

パソコン本体が再起動します。

■Windows 2000 の場合

1 添付の「WinDVD、Sonic RecordNow DX、DVD-RAM ドライバーソフト」CD-ROM を本製品にセットします。

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROMドライブ]：¥dvdram¥2k¥setup.exe

「DVD ドライバ用の InstallShield ウィザードへようこそ」ウィンドウが表示されます。

4 「次へ」をクリックします。

「使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。

5 「はい」をクリックします。

「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

POINT

- 標準では、「C:¥Program Files¥DVD-RAM¥Win2K¥DVD-RAM ドライバー」にインストールされます。インストール先は変更できますが、思わぬトラブルを招く場合があります。パソコンについての充分な知識のある方のみ、インストール先を変更できます。

6 「次へ」をクリックします。

「プログラムフォルダの選択」ウィンドウが表示されます。

7 「次へ」をクリックします。

「ファイルコピーの開始」ウィンドウが表示されます。

8 「次へ」をクリックします。

インストールが開始されます。

「InstallShield 完了」ウィンドウが表示されます。

POINT

- 「Windows 2000 ドライバーソフト 制限事項」が表示された場合は、内容を確認してウィンドウを閉じます。

9 **「完了」をクリックします。**

「システム設定の変更」ウィンドウが表示されます。

10 **「はい」をクリックします。**

パソコン本体が再起動します。

POINT

- DVD マルチドライブをお使いの場合、DVD-RAM ドライバーソフトと DLA を同時にインストールすることはできません。
  お使いの環境に合わせたソフトウェアをインストールしてください。
- Windows XP の場合、初めて DVD-RAM ディスクに書き込む場合には次の設定を行ってください。
  1. 「スタート」ボタン→「マイコンピュータ」の順にクリックします。
  2. DVD-RAM を割り当てているドライブを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
  3. 「書き込み」タブで「このドライブで CD 書き込みを有効にする」のチェックを外します。
  4. 「OK」をクリックします。
- Windows 2000 をお使いの場合、DVD-RAM ドライバーソフトをインストールすると、マイコンピューターに「リムーバブルディスク」アイコンができます。DVD-RAM を使用するときは、「リムーバブルディスク」アイコンを選択してください。

7 WinDVD をインストールする（DVD マルチドライブ、または DVD-ROM&CD-R/RW ドライブをお使いの場合）

ここでは、DVD を再生するためのアプリケーション「WinDVD」のインストール方法を説明します。

・DVD ドライブの設定（→ P.23）
・WinDVD のインストール（→ P.25）

重要

- 必ず本書の手順に従い、アプリケーションをインストールしてください。WinDVD が正常に動作しない場合や、ファイルが壊れる場合があります。
- WinDVD を再インストールする場合には、ファイルの削除が必要です。ハードディスクから WinDVD のファイルをアンインストールし、パソコン本体を再起動してから再インストールしてください。

DVD ドライブの設定

■ Windows XP の場合

DVD ドライブの設定は必要ありません。

■ Windows 2000 の場合

1 **「コントロールパネル」ウィンドウの「システム」アイコンをダブルクリックします。**
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 **「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。**

3 **「IDE ATA/ATAPI コントローラ」をダブルクリックします。**

4 **「セカンダリ IDE チャネル」をダブルクリックします。**
「セカンダリ IDE チャネルのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

5 **「詳細設定」タブをクリックします。**

6 「デバイス 0」の「転送モード」を確認します。

・「転送モード」が「DMA（利用可能な場合）」になっている場合
　すべてのウィンドウを閉じます。

・「転送モード」が「PIO のみ」になっている場合

1. 「転送モード」の右の ▼ をクリックします。
2. 「DMA（利用可能な場合）」を有効にします。
3. 「OK」をクリックします。
4. 再起動メッセージが表示された場合は、「はい」をクリックします。
   パソコン本体が再起動します。
5. 手順 1 へ戻り、設定を確認してください。

WinDVD のインストール

重 要

- 他の DVD 再生アプリケーションを同時にパソコン本体へインストールすることはできません。インストールした場合には、WinDVD の動作保証はできませんのでご注意ください。
- 管理者権限を持ったユーザーとしてログオンして WinDVD をインストールしてください。

1 添付の「WinDVD」CD-ROM を本製品にセットします。

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

［CD-ROM ドライブ］：¥dvd¥setup.exe

「WinDVD セットアップへようこそ」ウィンドウが表示されます。

4 「次へ」をクリックします。

「使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。

5 「はい」をクリックします。

「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

POINT

- 標準では「C:¥Program Files¥InterVideo¥WinDVD」にインストールされます。インストール先は変更できますが、思わぬトラブルを招く場合があります。パソコンについて十分な知識のある方のみ、インストール先を変更してください。

6 「次へ」をクリックします。

「プログラムフォルダの選択」ウィンドウが表示されます。

7 「次へ」をクリックします。

インストールが開始されます。「ファイルタイプの関連付け」ウィンドウが表示されます。

POINT

- ファイルタイプを関連付けしたくないときはチェックをはずしてください。

8 「次へ」をクリックします。

「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。

POINT

- 「サードパーティアプリケーションのセットアップ」ウィンドウが表示された場合は、設定を変更せず、「次へ」をクリックします。

9 「はい、直ちにコンピュータを再起動します」を有効（◉）にして、「完了」をクリックします。

パソコン本体が再起動します。

8 WinDVD の使い方（DVD マルチドライブ、または DVD-ROM&CD-R/RW ドライブをお使いの場合）

ここでは、WinDVD の始め方や終わり方、再生時の設定などについて説明します。

操作について

■ WinDVD の始め方

重 要

- WinDVD を起動する場合は、「画面のプロパティ」ウィンドウの「設定」タブで「詳細」または「詳細設定」をクリックし、「パフォーマンス」タブまたはトラブルシューティングにある「ハードウェアアクセラレータ」の設定を「最大」にしてください。
- WinDVD を起動する場合は、RecordNow DX を終了させてください。
- 自動的にパソコン本体がスタンバイまたは休止状態にならないように、省電力の設定を変更してください。また、WinDVD の起動中は、パソコン本体をスタンバイまたは休止状態にしないでください。
- WinDVD を起動中に解像度や色数、表示装置などを変更しないでください。誤動作の原因となります。
- DVD ディスクによっては、正常に再生されなかったり、画面が乱れたりすることがあります。
- WinDVD と他の動画再生アプリケーションや画像処理アプリケーションを同時に起動しないでください。
- WinDVD と他の音声再生アプリケーションを同時に起動しないでください。
- パソコン本体で仮想スクリーンモードに設定している場合は、WinDVD を起動しないでください。誤動作の原因となります。
- DVD は、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。WinDVD ではソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクのマニュアルも必ずご覧ください。

1 DVD ディスクを DVD マルチドライブ、または DVD-ROM&CD-R/RW ドライブにセットします。

WinDVD が自動的に起動し、DVD の再生画面が表示されます。

POINT

- WinDVD が自動的に起動しない場合は、「スタート」ボタン→「(すべての) プログラム」→「InterVideo WinDVD 」→「InterVideo WinDVD 」の順にクリックしてください。
- Windows XP で WinDVD が自動的に起動せず、「Windows が実行する動作を選んでください。」というメッセージが表示された場合は「DVD ムービーの再生 interVideo WinDVD 使用」を選択し、「OK」をクリックしてください。

2 「OK」をクリックします。

DVD の再生画面が表示されます。

POINT

- DVD の再生直後、数秒間画面が正常に表示されないことがあります。
- DVD マルチドライブ、または DVD-ROM&CD-R/RW ドライブに DVD ディスクを入れたまま Windows を起動した場合、または再度「WinDVD」を起動する場合は、「スタート」ボタン→「(すべての) プログラム」→「InterVideo WinDVD 」→「InterVideo WinDVD 」の順にクリックしてください。

■WinDVD の終わり方

1 操作パネル右上にある「終了」をクリックします。

WinDVD が終了します。

POINT

- 操作パネル/ショートカットメニューの項目の中には、設定を変更できないものがあります。

設定について

ここでは、DVD ディスク再生時の設定について説明します。
WinDVD のヘルプも、あわせてご覧ください。

POINT

- 機能やオプションのなかには、再生中に設定できないものがあります。

■ 音声（言語）を選択する

お使いになるディスクに複数の音声（言語）が用意されている場合には、再生する音声（言語）を選択できます。
再生中にショートカットメニューの「オーディオ」をクリックすると、音声（言語）やレコーディングシステム、オーディオチャンネルを切り替えることができます。

POINT

- マルチ音声カラオケ DVD ディスクの音声を切り換えるには、「オーディオエフェクト」サブパネルをクリックして表示し、「カラオケ」をクリックして、「ボーカルオプション」の設定を切り換えます。
- DTS で記録された DVD-Video は、パソコン本体のスピーカーからは音声の再生ができません。
- WinDVD は、DVD-Video の再生終了時に選択していた音声（言語）を記録します。同じ DVD-Video を再び再生したときには、前回の再生終了時の音声（言語）で再生されます。

■ 字幕を選択する

お使いになるディスクに複数の字幕が用意されている場合には、再生する字幕を選択できます。
再生中にショートカットメニューの「サブタイトル」をクリックすると、字幕を切り替えることができます。

POINT

- WinDVD は、DVD-Video の再生終了時に選択していた字幕を記録します。同じ DVD-Video を再び再生したときには、前回の再生終了時の字幕で再生されます。

■ フルスクリーンモードで起動する

再生中にショートカットメニューの「セットアップ」をクリックし、「ビデオ」タブの「フルスクリーンモードで起動する」にチェックをつけると、フルスクリーンモードで起動することができます。

重 要

- 「ビデオ」タブのビデオハードウェア構成の設定は絶対に変更しないでください。

■アングルを選択する

お使いになるディスクによっては、同じタイムテーブル上に、複数のアングルが収録されています。複数のアングルを持つシーンでは、ショートカットメニューの「アングル」をクリックするとお好みのアングルを選択することができます。

POINT

- 再生されるアングルは、再生を行うタイトル（ファイル）のデータによって異なります。再生するデータごとにお好みのアングルを再度選択してください。
- タイトルのデータによって、再生中に表示できるアングル効果が異なる場合があります。
- 再生される DVD ディスクによっては､アングル情報のないチャプターでもアングルが変更できるように見えますが、変更はできません。

■再生制限レベル（パレンタルレベル）を設定する

お使いになるディスクによっては、再生する映像を制限できるパレンタルレベル機能が用意されている場合があります。
あらかじめパスワードを登録し、視聴制限を行うレベルを設定しておくことにより、子供に暴力シーンやアダルト映像などの再生を見せないようにすることができます。
パレンタルレベルを設定する前に、管理者権限を持ったユーザーとしてログオンしておいてください。

POINT

- パレンタルレベルの設定は、パレンタル機能が用意されているディスクを再生する場合のみ、有効です。
- パレンタルレベルについて
  - ・パレンタルとは PARENT（親、両親）の意味で、親が子供に見せたくない映像に制限をつけるものです。
  - ・設定できるレベルは 5 種類です。
  - ・ディスクを再生すると、自動的にパレンタルレベルが認識されます。
設定したパレンタルレベルよりも制限の多いディスクを再生するときは、あらかじめ登録されたパスワードが必要になります。
  - ・パレンタルレベルはディスクによって異なります。

1 DVD ディスクを再生中の場合は、再生を停止します。

2 「セットアップ」ウィンドウの「プリファレンス」タブをクリックします。

まず、パスワードを登録します。パスワードを登録済みのときは手順 8 に進みます。

3 「パスワード設定」をクリックします。

4 一文字以上のパスワード（半角英数字）を上の段に入力し、下の段に同じパスワードを入力します。

POINT

- パレンタルレベルを設定し直す場合は、ここで登録したパスワードが必要になります。

5 「OK」をクリックします。

6 「レベル設定」をクリックします。

7 パスワードを入力して「OK」をクリックします。

8 「パレンタルレベル」を選択します。

「G」が最も規制が緩く、「NC-17」が最も規制が厳しくなっています。

POINT

- Windows XP では各ユーザーについてお好みのレベル制限を設定することができます。
  Windows 2000 ではすべてのユーザーについてレベル制限を設定します。

9 「適用」をクリックし、「OK」をクリックします。

POINT

- パスワードを変更する場合は、「プロパティ」ウィンドウで「パレンタル・ロック設定」タブをクリックして、パスワードを入力してください。

9 付録

故障かな？と思う前に

正常に動作しない場合は、次のことを確認してください。また、本製品以外の原因も考えられますので、システムとして組み合わされている他の機器も合わせてお調べください。どうしても原因がわからないときは、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元に連絡してください。

現象	原因	対処方法
ディスクを入れても正常に動作しない。 画像の再生が円滑に行われない。 ・再生画面にノイズが出る。 ・「不正な処理が行われました」と表示される。 ・再生が途中で止まる。 ・「不正なイメージ」と表示される。 ・エラーメッセージが表示される。	ディスクが裏返しになっていませんか？	ディスクのデータ面を確認してください。
	ディスクが汚れていませんか？	ディスクのデータ面をきれいに拭いてください。
	ディスクにキズがあったり、反っていませんか？	ディスクを交換してみてください。
	WinDVDを正しくインストールしましたか？	「WinDVD のインストール」（→ P.25）の手順に従って WinDVD を再インストールしてください。
	NAH、NA、NAL、MGH、MG シリーズ本製品はパソコン本体にしっかり装着されていますか？	もう一度しっかり装着し直してください。
	DMA 転送はアクティブですか？	「DVD ドライブの設定」（→ P.23）の操作をご覧になり、DMA 転送を有効にしてください。その後、すべてのアプリケーションを閉じ、パソコン本体を再起動してください。
	管理者権限を持ったユーザーとしてログオンしてから WinDVD をインストールしましたか？	いったんアンインストールしてから管理者権限を持ったユーザーとしてログオンし直し、「WinDVD のインストール」（→ P.25）の手順に従って再インストールしてください。
	色数の設定は正しいですか？	色数を「中（16 ビット）」または「High Color（16 ビット）」に設定してください。
	Wave 音源の再生または AVI ファイル等の映像再生をしていませんか？	Wave音源またはAVIファイル等の映像と同時再生はできません。

現象	原因	対処方法
音が小さい。	パソコン本体のボリュームの設定は正しいですか？	DVDディスクによっては音のレベルが小さく録音されているものがあります。パソコン本体の音量を調節してください。

仕様（NAH、NAL シリーズ）

■ 内蔵 DVD マルチドライブユニット

対応規格（CD）	CD-ROM、CD-ROM XA、CD-DA、CD Extra、Video CD CD-TEXT、Photo CD、CD-R、CD-RW
対応規格（DVD）	DVD-5/DVD-9/DVD-10/DVD-18/DVD-R（3.95/4.7GB） DVD-RW/DVD-RAM
インターフェース	ATAPI
データ転送速度注	DVD-ROM 読出：最大 8 倍速、DVD-R 書込：最大 2 倍速、 DVD-RW 書込／書換：最大 1 倍速、 DVD-RAM 書込／書換：最大 2 倍速、 CD-ROM 読出：最大 24 倍速、CD-R 書込：最大 16 倍速、 CD-RW 書込／書換：最大 8 倍速
ディスクサイズ	直径 12cm/8cm
出荷時リージョンコード	「2」
外形寸法	W130 × D142 × H15 mm
質量	約 240g

■ 内蔵 DVD-ROM&CD-R/RW ドライブユニット

対応規格（CD）	CD-ROM、CD-ROM XA、CD-DA、CD Extra、Video CD、 CD-TEXT、Photo CD、CD-R、CD-RW
対応規格（DVD）	DVD-5/DVD-9/DVD-10/DVD-18/DVD-R（3.95/4.7GB）
インターフェース	ATAPI
データ転送速度注	DVD-ROM 読出：最大 8 倍速、 CD-ROM 読出：最大 24 倍速、CD-R 書込：最大 24 倍速、 CD-RW 書込／書換：最大 10 倍速
ディスクサイズ	直径 12cm/8cm
出荷時リージョンコード	「2」
外形寸法	W130 × D142 × H15 mm
質量	約 230g

注：各数値は仕様上の最大値であり、使用するメディアや動作環境により異なる場合があります。

仕様（NA、MGH、MG シリーズ）

■内蔵 DVD マルチドライブユニット

項目	仕様
対応規格（CD）	CD-ROM、CD-ROM XA、CD-DA、CD Extra、Video CD CD-TEXT、Photo CD、CD-R、CD-RW
対応規格（DVD）	DVD-5/DVD-9/DVD-10/DVD-18/DVD-R（3.95/4.7GB） DVD-RW/DVD-RAM
インターフェース	ATAPI
データ転送速度[注]	DVD-ROM 読出：最大 8 倍速、DVD-R 書込：最大 2 倍速、 DVD-RW 書込／書換：最大 1 倍速、 DVD-RAM 書込／書換：最大 2 倍速、 CD-ROM 読出：最大 24 倍速、CD-R 書込：最大 16 倍速、 CD-RW 書込／書換：最大 8 倍速
ディスクサイズ	直径 12cm/8cm
出荷時リージョンコード	「2」
外形寸法	W130 × D142 × H15 mm
質量	約 240g

■内蔵 DVD-ROM&CD-R/RW ドライブユニット

項目	仕様
対応規格（CD）	CD-ROM、CD-ROM XA、CD-DA、CD Extra、Video CD、 CD-TEXT、Photo CD、CD-R、CD-RW
対応規格（DVD）	DVD-5/DVD-9/DVD-10/DVD-18/DVD-R（3.95/4.7GB）
インターフェース	ATAPI
データ転送速度[注]	DVD-ROM 読出：最大 8 倍速、 CD-ROM 読出：最大 24 倍速、CD-R 書込：最大 24 倍速、 CD-RW 書込／書換：最大 10 倍速
ディスクサイズ	直径 12cm/8cm
出荷時リージョンコード	「2」
外形寸法	W130 × D142 × H15 mm
質量	約 230g

■内蔵 CD-R/RW ドライブユニット

対応規格	CD-ROM、CD-ROM XA、CD-DA、CD Extra、Video CD、CD-TEXT、Photo CD、CD-R、CD-RW
インターフェース	ATAPI
データ転送速度注	CD-ROM 読出：最大 24 倍速、CD-R 書込：最大 24 倍速、CD-RW 書込／書換：最大 10 倍速
ディスクサイズ	直径 12cm/8cm
外形寸法	W130 × D142 × H15 mm
質量	約 220g

注：各数値は仕様上の最大値であり、使用するメディアや動作環境により異なる場合があります。

仕様（NUL シリーズ）

■内蔵 DVD マルチドライブ

対応規格（CD）	CD-ROM、CD-ROM XA、CD-DA、CD Extra、Video CD CD-TEXT、Photo CD、CD-R、CD-RW
対応規格（DVD）	DVD-5/DVD-9/DVD-10/DVD-18/DVD-R（3.95/4.7GB）DVD-RW/DVD-RAM
インターフェース	ATAPI
データ転送速度注	DVD-ROM 読出：最大 8 倍速、DVD-R 書込：最大 2 倍速、DVD-RW 書込／書換：最大 1 倍速、DVD-RAM 書込／書換：最大 2 倍速、CD-ROM 読出：最大 24 倍速、CD-R 書込：最大 16 倍速、CD-RW 書込／書換：最大 8 倍速
ディスクサイズ	直径 12cm/8cm
出荷時リージョンコード	「2」

■内蔵 DVD-ROM&CD-R/RW ドライブ

対応規格（CD）	CD-ROM、CD-ROM XA、CD-DA、CD Extra、Video CD、CD-TEXT、Photo CD、CD-R、CD-RW
対応規格（DVD）	DVD-5/DVD-9/DVD-10/DVD-18/DVD-R（3.95/4.7GB）
インターフェース	ATAPI
データ転送速度注	DVD-ROM 読出：最大 8 倍速、CD-ROM 読出：最大 24 倍速、CD-R 書込：最大 24 倍速、CD-RW 書込／書換：最大 10 倍速
ディスクサイズ	直径 12cm/8cm
出荷時リージョンコード	「2」

注：各数値は仕様上の最大値であり、使用するメディアや動作環境により異なる場合があります。

仕様（NUB シリーズ）

■内蔵 DVD マルチドライブ

対応規格（CD）	CD-ROM、CD-ROM XA、CD-DA、CD Extra、Video CD CD-TEXT、Photo CD、CD-R、CD-RW
対応規格（DVD）	DVD-5/DVD-9/DVD-10/DVD-18/DVD-R（3.95/4.7GB） DVD-RW/DVD-RAM
インターフェース	ATAPI
データ転送速度注	DVD-ROM 読出：最大 8 倍速、DVD-R 書込：最大 2 倍速、DVD-RW 書込／書換：最大 1 倍速、DVD-RAM 書込／書換：最大 2 倍速、CD-ROM 読出：最大 24 倍速、CD-R 書込：最大 16 倍速、CD-RW 書込／書換：最大 8 倍速
ディスクサイズ	直径 12cm/8cm
出荷時リージョンコード	「2」

■内蔵 DVD-ROM&CD-R/RW ドライブ

対応規格（CD）	CD-ROM、CD-ROM XA、CD-DA、CD Extra、Video CD、CD-TEXT、Photo CD、CD-R、CD-RW
対応規格（DVD）	DVD-5/DVD-9/DVD-10/DVD-18/DVD-R（3.95/4.7GB）
インターフェース	ATAPI

データ転送速度注	DVD-ROM 読出：最大 8 倍速、 CD-ROM 読出：最大 24 倍速、CD-R 書込：最大 24 倍速、 CD-RW 書込／書換：最大 10 倍速
ディスクサイズ	直径 12cm/8cm
出荷時リージョンコード	「2」

■ 内蔵 CD-R/RW ドライブ

対応規格	CD-ROM、CD-ROM XA、CD-DA、CD Extra、Video CD、 CD-TEXT、Photo CD、CD-R、CD-RW
インターフェース	ATAPI
データ転送速度注	CD-ROM 読出：最大 24 倍速、CD-R 書込：最大 24 倍速、 CD-RW 書込／書換：最大 10 倍速
ディスクサイズ	直径 12cm/8cm

注：各数値は仕様上の最大値であり、使用するメディアや動作環境により異なる場合があります。

仕様（NULX、NUBX シリーズ）

■ 内蔵 DVD-ROM&CD-R/RW ドライブ

対応規格（CD）	CD-ROM、CD-ROM XA、CD-DA、CD Extra、Video CD、 CD-TEXT、Photo CD、CD-R、CD-RW
対応規格（DVD）	DVD-5/DVD-9/DVD-10/DVD-18/DVD-R（3.95/4.7GB）
インターフェース	ATAPI
データ転送速度注	DVD-ROM 読出：最大 8 倍速、 CD-ROM 読出：最大 24 倍速、CD-R 書込：最大 24 倍速、 CD-RW 書込／書換：最大 10 倍速
ディスクサイズ	直径 12cm/8cm
出荷時リージョンコード	「2」

注：各数値は仕様上の最大値であり、使用するメディアや動作環境により異なる場合があります。

FMV-LIFEBOOK
DVD マルチドライブ、
DVD-ROM&CD-R/RW ドライブ、
CD-R/RW ドライブをお使いになる方へ

B6FH-2361-02 Z2-00

発 行 日　2004 年 6 月
発行責任　富士通株式会社